

関西圏地盤情報データベース研究利用報告書

研究課題	自然地形 DEM を用いた微地形解析に基づく地盤災害リスク評価に関する研究		
研究者	国土地理院 地理地殻活動研究センター 地理情報解析研究室 吉田 一希		
研究期間	令和 6 年 3 月 ～ 令和 7 年 3 月	報告日	令和 7 年 3 月 31 日
研究目的： 本研究では、人工地形を除いた自然地形 DEM の作成手法を開発し、全国の主要な平野部（低地・段丘）の自然地形 DEM（5m メッシュ）を作成する。自然地形 DEM を用いて、低地の微地形や人工地形の定量的な抽出や地形量の算出を行い、平野部における地形分類データの高精度化・定量化を図る。また、地形量とボーリングデータによる地盤特性との関係を分析し、地盤特性の推定に適した地形パラメータ及び地形分類体系を明らかにする。 研究内容と成果： QGIS と DEM を用いた地形判読・地形解析により、LiDAR DEM からノイズ状の人工地形を除去するための自動的かつ簡易的な手法を開発したが、微地形の地形量と地盤（関西圏地盤情報データベースの柱状図データ等）との関係については、検討に時間を要しているため 2024 年度は十分な研究成果が得られず、对外発表を行っていない。 公開資料（論文等）： 関西圏地盤情報データベースを利用した公開資料はない。			

※貸出期間終了後、研究利用報告書（本様式）と研究成果（論文等）を提出してください。

※研究利用報告書は、KG-NET の HP に掲載いたします。